

コース No. CPO - 3 - 19

2019 年 10 月 16 日

コース名： インドネシア国エネルギー・鉱物資源省向け 「石油・ガスと新エネルギーの将来」

担当者： 安彦 聡也

<背景>

インドネシア国エネルギー・鉱物資源省から、今後のエネルギー政策の方向性を探る上で必要な知見を得るため、JCCP と共同でワークショップを開催したいとの要請に基づき、「石油・ガスと新エネルギーの将来」をテーマに、日本から7名の専門家を派遣して1日間のワークショップを開催した。

<内容>

- 1)インドネシアのエネルギー概観:石油とガスに焦点を絞って / ERIA
- 2)日本におけるカーボンリサイクルの普及に向けて (CCUS を含めて)/カーボンリサイクルファンド
- 3)持続可能なエネルギーパスと新エネルギーの開発 /エネルギー&イノベーション研究所
- 4)AI/デジタル技術によるオイル&ガスパラントの将来像 /千代田化工建設
- 5)インドネシアにおけるガスバリューチェーンと再生可能エネルギーについて /国際石油開発帝石
- 6)CO2 分離回収型高効率石炭ガス化複合発電 (IGCC) 実証 /大崎クールジェン
- 7)風力発電事業の概要と将来の展開 /コスモエネルギーホールディングス

<まとめ>

今回のワークショップ開催により、インドネシアは現在のエネルギー情勢を認識しながら、将来はどのようなエネルギーミックスを描いたらよいか、またその実現に向けて日本がどのような技術を保有し、提供できるのかを十分に理解してもらうことができた。更に、参加者の質疑応答及び討論内容やアンケート結果から、このワークショップは実り多き国際会議となったことも分かった。

<実施場所>

インドネシア ジャカルタ エネルギー・資源鉱物省 会議場“サルーラ”

<参加国>

インドネシア / 合計 150 名



会議室 “サルーラ”にて